

第17期 施設見学会が開催されました

区民協議会では、国、自治体、民間における様々な事業の一端を知り、部会活動の参考にしようと、年1回の施設見学会を開催しています。

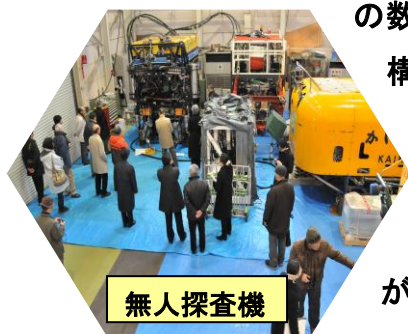
今回の見学会は、平成25年1月8日（火）に20名の参加で開催され、横須賀市にある独立行政法人海洋研究開発機構の本部と、横須賀市民防災センター「あんしんかん」の2か所を見学しました。

海洋研究開発機構は、海洋を中心とする様々な観測、研究、技術開発をしています。また一般の人との交流を通じ、海洋や地球についての知識の普及と理解、人材の育成、研究開発成果の産業利用などに取り組んでいます。



海洋研究開発機構の概要を映像により学んだ後、海洋科学技術館を見学、ここでは世界の深海調査研究の中核を担う重要な役割を果たしている有人潜水調査船「しんかい 6500」の実物大模型を中心に、海洋研究開発機構で所有している船舶の模型や飼育中の深海生物等を展示しています。「しんかい 6500」の実物大模型は、コックピットの側面が切り取られており、模型の中に入ってパイロット気分を味わうことができます。私たちもその体験をしましたが、狭いコックピット内での研究作業は大変だろうと思いました。次に「かいこう 7000 II」等の無人探査機（ロボット）

の数々を見学し、その多機能および複雑な構造に驚かされました。最後に高圧実験水槽棟を見学し、深海での圧力の大きさおよびその圧力による様々な現象を学ぶことができました。



海洋研究開発機構の見学後、京浜急行の横須賀中央駅で降り、市役所そばの横須賀市民防災センター「あんしんかん」に向かい、そこを見学しました。

最初に防災オリエンテーションとして災害に対する心得等を映像で学びました。次に、



震度6避難体験ゾーン

体験ゾーンで震度6の地震時での対応方法・消火器の使い方・煙を充満させた通路を避難する等の体験をして、それをビデオでチェックしてその対処方法を学びました。この擬似体験システムは、よくできていて災害時の避難訓練に対し非常に有効であると思いました。またこのルームには、災害の恐ろしさを特殊効果により体験できるバーチャルスペースもありました。また家庭内電話および公衆電話による119番通報体験をしましたが、消防車あるいは救急車を呼ぶことが意外に難しいと考えさせられました。最後に

団体でのみ見学できる災害対策本部室および地下の免震装置を見学しました。「あんしんかん」は10年前に建造されて免震構造となっています。免震構造は種々の方法がありますが、



免震構造

当館は防振ゴム、バネおよび鉛の柱を組み合わせて免震を行っています。免震構造を見学できる機会は、ほとんどのメンバーがなかったのでみんな興味深く見学をしていました。



横須賀市災害対策本部

独立行政法人海洋研究開発機構の見学では、深海研究の設備および研究内容等、「あんしんかん」では、災害時の体験、その対処方法および災害に備え普段から行っていくべきこと等を学ぶことができました。海中深くに設置された地震計や様々な免震構造の方法を見学することにより、世界においても進んでいる日本の防災技術の一端を垣間見ることができ、有意義な施設見学会になりました。

